

置については、宝塚、伊丹、また隣の福崎町でももう取り組みをされている。加西市の取り組みは消極的ではないか。そういった施策をされる気がないのか。

A 生活保護支援については、相談等はどの方に対しても公平、公正、平等で丁寧に詳しく説明しております、問題はないと考えます。

また、正確かつ迅速な対応に努めています。法に基づく詳細な調査、審査等が必要で、直ちに要保護にならないケースが多くあります。しかし、緊急を要する場合には迅速な対応を行っています。

障害者自立支援法の軽減措置について、新しい制度のもとでの業者負担は、福祉サービス料及び医療費の原則1割負担と、食費、光熱費の全額負担が義務づけられました。その結果、急激な負担増となり、障害者の生活苦を招くおそれが生じたため、国は負担の上減額を所得に応じて定めたり、生活保護に移行しないよう額の決定を行ったり、食費について補足給付を行って、償還給

付する等、様々な激変緩和措置を実施しているところで、市も独自の支援策を講じる必要があるのではないかと考えています。

10月に実施予定の障害者意向調査の結果を踏まえ、また近隣市町の動向を参考にしながら、財政再建計画と整合性を図りつつ検討していきます。

学校問題等

Q 地元市民の理解も得ずに事業予算を補正

で上げ、加西市全体の学校構想がない段階で、新構想学校の単独工事をどう考えるのか。宇仁の小学校の便所は、いまだに汲み取り式で小学校低学年は家に帰ってトイレを済ますとか。こんな環境で小学校の子が勉強しているのをどう思われるか。0歳から15歳、750人、50人単位で最大750人。建物は、日照権の加減で2階しか校舎を建てられない。宇仁小学校の用地で新学校構想の校舎ができるのか。少子化で子どもが減る中、特区認定を受け賀茂幼稚園を開園し、立派に運営されて、全国

からも視察が相次いでいます。なぜの構想ができないのか。19年度の幼稚園の入園児募集で、弾力的運用をしてもらっている実働幼稚園に15名の生徒が集まらなかつたら休園という形になってしまつたのか。今後加西市の幼稚園の計画はどうなっているのか。

A 着任して間もなく人口を意識し数を述べ

ましたが、地域意識の非常に強い本市で、まず学校、数の論を展開することはよくないということに気づきました。むしろ新しい学校というものを考える中で、当然学校の全体構想も市民的議論の対象になってくる。そこにゆだねていく方がよしいとは考えています。宇仁小のトイレについては、ご指摘のとおりだと思います。ただ、やっぱり私の思いの中には学校が新しくなるのでという思いもあるので、もう少し考えさせていただきたい。幼稚園・保育所は公立6、私立6というような体制で当面いこうという話になっております。幼児園は賀茂、九会まで決めますが、その次をど

市長の政治姿勢

Q いまの加西にとって市民病院の医師不足、そして小野市との関係が

うするのにはまだ決めてません。休園に関しては、難しい問題ですが、去年決めた約束事ですから、休園があるとお考えいただきたい。

本当然の喫緊の課題で、任期付きの職員の条例案やシステムアドバイザーの補正を組むのであれば病院の医師を確保するための補正を組んではどうか。市長は昨年の委員会ではお金のことにこだわらぬ医療職は必要ないと言われた。そう言って医師が減ってしまったのだから、それが原因であるかどうかは受けとめ方の違いとしても、医師に対する手当・報酬を見直ししても医師を探さず、そうでなければ市民病院の病院経営が成り立たない、ひいては財政再建を目指す加西市に致命的な状況を招くのではないか。

小野市との関係は、原因がどうであれ隣同士の行政がこういう状態ではないのか。やは

り社長の5カ月の不在が現状の関係を招いていると思う。本気で関係修復をする気があるのか。

A 病院に関しては、いろんな方法で医師確保に尽力しています。しかし、

医師を確保する上では、確保した産婦人科部長のネットワークの中で、次の人材を確保していくのが順当なやり方です。私がしゃしゃり出て変な混乱を起こさないように、院長に常に何かあったら何でも指示してくださいと対応しています。私としては、例えば病院の器材調達を、より経営の採算性を上げる意味で廉価な調達に尽力し、厚生労働省医事課にも出向き、大学の大学長にも面談し、あるいは医師住宅の建てかえも自ら企画しています。最大限の取り組みもやっていることをご理解いただきたい。

小野市長とは、けんかをしているものではありません。お互いに是非々々で会議等でも議論しています。北条鉄道に関しては、最終的に小野市長、あるいは小野市議会の最